科目ナンバリング	U-LAS14 20015 LJ68						
授業科目名<英訳>	野生動物学入門 Introduction to Wildlife Science			担当者所属職名・氏名	野生動物研究センター 助教 豊田 有 人と社会の未来研究院 教授 山本 真也 野生動物研究センター 助教 佐藤 悠		
群	自然科学科目群	分野(分類)	生物学(各論)		使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金4	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

野生動物や動物園・水族館など飼育下の動物を対象とした、動物の生態・行動・社会・保全などの研究について解説する。一連の講義を通じて、野生動物の研究を概観する。また、動物の生態学、社会学、保全生物学などの研究領域の基本的な考え方を学ぶ。

[到達目標]

動物生態学、動物社会学、保全生物学などの基礎的な考え方を理解する。また、そのような考え方から、環境問題や人間の行動といった身近な現象を捉えなおし、さまざまな視点から物事を考察するための基礎知識を習得する。

[授業計画と内容]

以下の主題に関して、野生動物研究センターの教員がリレー形式で概説する。詳細な講義日程、各回の講義内容などについては、初回の講義においてアナウンスする。

１）野生動物を遺伝子解析によって理解する（5回）佐藤
　直接観察が難しい野生動物でも、DNAを調べることで生態や進化に関する情報が得られる。遺伝解析による種や性の判別、個体差の検出、個体数の推定、等について、例をあげて説明する。また遺伝情報にもとづく野生動物の保全や生態研究の様々な可能性について解説する。
２）野生動物の認知・行動・社会（4回）山本
　動物たちは、何を考え、どのように振る舞い、どんな社会を築いているのだろうか？多様な動物種の心・行動・社会に迫る比較研究について概説する。このような研究と保全や動物福祉、さらには人間理解へのつながりについても紹介する。
３）野生動物の生態・保全（5回）豊田
　野生動物の生態についての基礎的な知識や野外調査における研究手法について、霊長類を中心に陸生哺乳類の例を紹介しながら解説する。また、野生動物の保全において問題となる人と野生動物との間に生じる軋轢についても解説し、人と動物の共存のために必要な取り組みについて、国内外の事例を紹介する。
４）期末試験
５）フィードバック（1回）

[履修要件]

高校等での生物の履修経験は必要としない。授業中必要になる知識については、授業内で適宜補足する。

[成績評価の方法・観点]

期末試験（筆記）による絶対評価

野生動物学入門(2)へ続く↓↓↓

野生動物学入門(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

京都大学野生動物研究センター『野生動物―追いかけて、見つめて知りたい キミのこと』（京都通信社）ISBN:978-4-903473-60-4（野生動物研究センターの様々な研究活動を、初心者にも分かりやすく紹介している。）

（関連ＵＲＬ）

http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/link.html(野生動物研究センター)

[授業外学修（予習・復習）等]

予習は特に必要ない。授業で、特に重要な概念・用語などを指摘するので、それらを復習することで、基礎的な知識を身につけてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]